

二十一年八月廿四日接交

二十一年八月廿四日接交

内藤代團 政務課長

受第八九三〇號

二十一年八月二十五日

大臣

次官 (階)

總務局長

書記官

文書課長 (森)

(境野)

縣治局長 (島)

地方費課長 (宇田)

會計局長 (天谷)

出納課長

外務省

検査課長 (田)

衛生局長 (長)

衛生課長

外務省

大臣

次官 周藏

總務局長

書記官 (飯島)

外國之居留地河岸政修工事下渡之案ニ付

上申

第九
五

二十一年八月二十四日

内藤代印

受第八九三〇

二十一年八月二十七日

取寄

二十一年八月二十五日

受第八九三〇

多しり出之為

總務局長

書記官

文書課長

境野

縣治局長

地方費課長

會計局長

出納課長

検査課長

衛生局長

衛生課長

外務省

大臣

次官 周藏

總務局長

書記官

外國人居留地河岸改修工事下渡之係
上申

外務省

長壽縣

本中ハ長壽港外國人居留地ニ水部ノ用鏡有通セ
ル銅度川及松枝川ハ数條下流ヲ受ルリ以テ河底常
ニ汚穢物シ沈堆シ干澁時毎ニ太陽曝露臭氣ノ蒸騰
出ク殊ニ夏期ノ如キハ傳染病ノ素因ヲ醸生スルノ恐レ少
カラサルヲ以テ早晚改良ノ方法ヲ設クキ見込ノ処今般
清國領事ヨリ照会ノ状有之ニ付此際起工要
先ノ上流ヲ防止致度依テハ工費四万三千五百余圓
庫ヨリ不付アランコトヲ請フト云フニアリ

安ホスルニ汚穢物ヲ浚除シ無臭ノ蒸騰ヲ防止スルハ衛
生上最モ必用ノ事ニテ殊ニ外國人居留地ニ付等用ニ附
ス可ラサルハ勿論ナルモ本年度國庫金ハ皆丈シ豫
定済ニテ天災地變等臨時費ヲ除ク外本件ノ如キ
工事ニ當リ特別支心係ハ中モ難改行ガ付来ニ二年
度府縣管課土木費豫算ニ追加取計ハルハノ乎勿
知事ハ其旨土木局長ヨリ通牒相成及採致度此
級相向也

外務省

但本申ニハおニ指合ノ要セサル積リニ有之也

一 金四万三千五百五拾五圓五拾三錢

予二年度府縣管課土木費追加豫算額

土木局長通知案

涉管下長壽港外國人居留地河岸改修工費下渡ノ
案ニ付今般申七分三三〇号以上申ノ案本年一度ノ案
ハ既ニ豫算決定済ニ付右等費用ニ對シ臨時支心係
ハ到底詮議難出及案右指合知有之度尤清

國經事照會ノ旨アリ事宣止ハシテ存
及付来二十二年度豫算ニ追加編入取計其尤甚
下付可相成裁否ニ至テ八回年度豫算決定ノ上ニ
之ヲハ判然不致其右及以通課其也

而 長

縣知事宛(親展)

近テ該項上申書ニハお指合等々及以候申候
其也

此外ニテ新設府民上申書及以有期去書等々
此略之略(寫)ナラセス

外務省

二十二年五月四日接受 内閣傳聞

第十六門
S
O



政務課 取調局
受第 四九六 號
廿二年五月七日送附

此件ハ申方ハ無云及
不ハ云及無云及
ヲノ通知

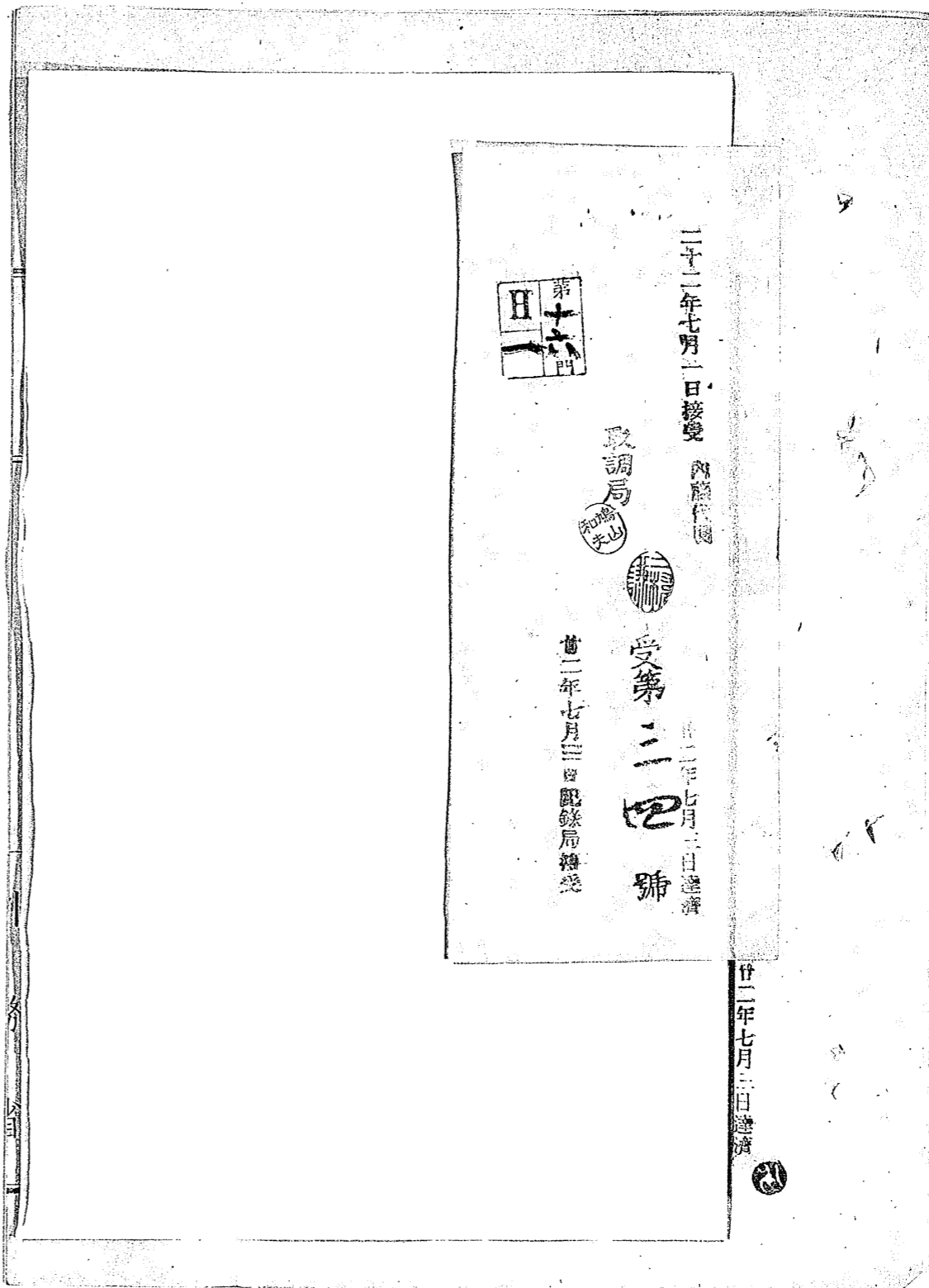
長崎縣知事 伺書外國人居留地沿岸改修及汚
泥浚渫費下條ニ及四月四日附伺對ニ未与出長
ヨリ縣知事、通牒案体回済之件
右書類五月七日持印之上 本署返却マ

二十二年五月七日 外務省

外務省

3-2797

0366



第 十六 門

二十二年七月二日 接受 内閣作備

取調局
和山



受第二二四號

二十二年七月三日 陸録局 傳送

二十二年七月三日 陸録局



3-2797

0367

明治廿二年六月三日
土木局長 中村
治水課長 出内
計算課長 野村

任二年七月三日發行

大臣 (野)	次官 (野)	總務局長	書記官	文書課長 (本森)	縣治局長 (野)	地方費課長 (吉長)	衛生局長 (野)	會計局長 (野)	出納課長 (野)	検査課長 (野)	外務省	大臣	次官 (岡松)	總務局長	書記官	文書課長	取調局長 (野)	外務省
--------	--------	------	-----	-----------	----------	------------	----------	----------	----------	----------	-----	----	---------	------	-----	------	----------	-----

外務省 居留地河岸改修工事所下隊之長

3-2797

0368

再申

長崎縣

右方編キニ計畫調査ニ有技術ヲ實地ニ出張セシメテ
修費分般別成ニ通到底ニ時ニ報書呈上スルニ
又他ニ費用ヲ減スル途ナキ後命令ニ有テ事申出
ノ金額別年支出方大抵者、内服局ノ有テ裁在ノ案ヲ
具シ相伺候 但全額中、預備ノ案、技術師ノ増給等ノ金計
ヲ訂正取計候

案

長崎縣下長崎港外國ノ居留地河年改修上費
下流ノ急流ニ別成、通算申有テ、本年七月申
申出ノ節事、坊於テ、無止案セラルルモ、天災地変
等、臨時費ト里リ、其際特別支出ノ成、中ニ行ハ
レ、期トト月、一旦二十二年、長府縣管轄ニ未

外務省

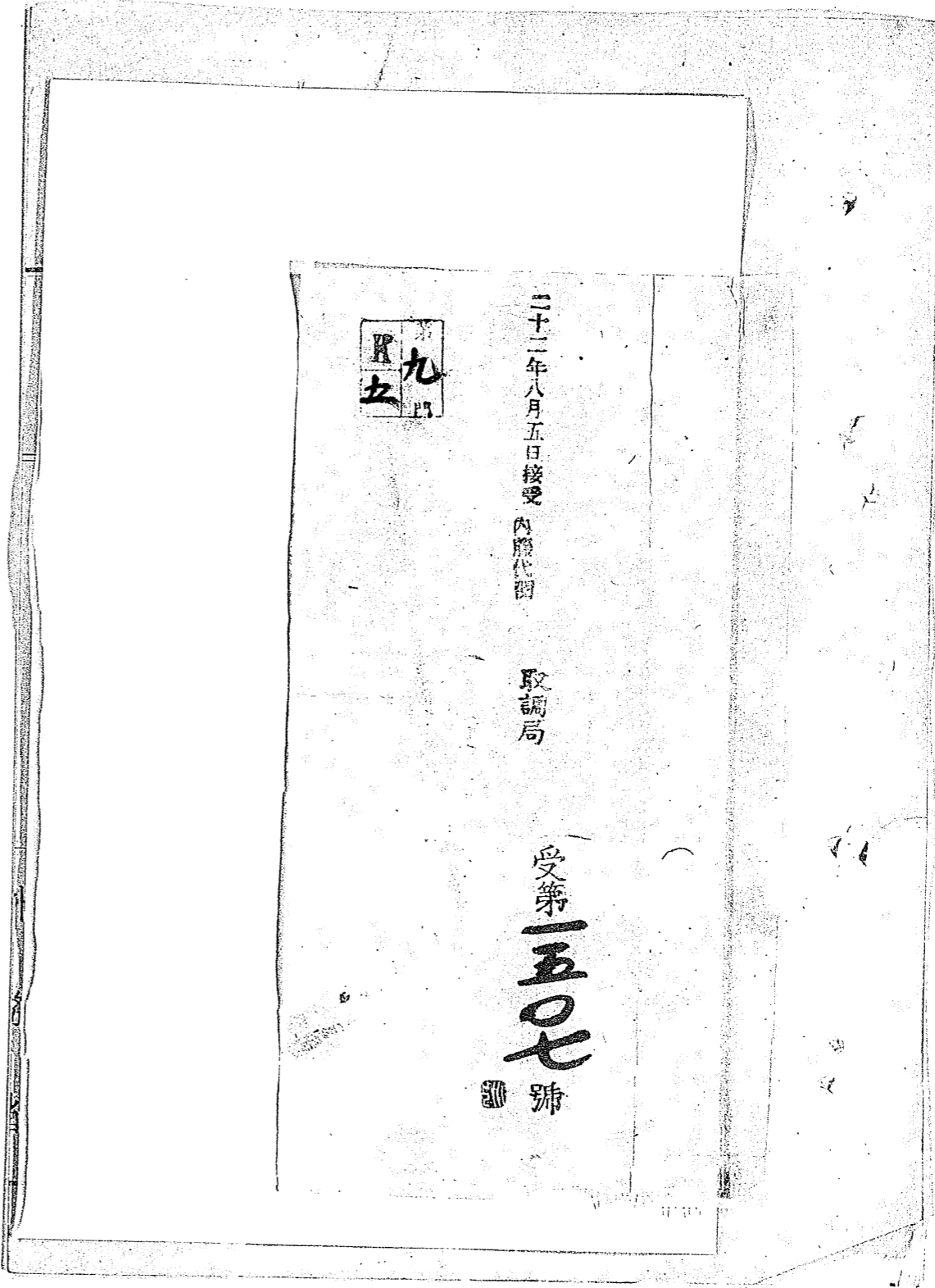
費ニ追加豫算取テ、女費用節減ノ方、道ニ行
ハレ、知ルニ今再申ノ趣ニ依ルハ、實ニ強措置ニ業
ト社存執ラ、一應者有、技術師ヲ實地ニ派シ、工費
算納、且、心ヲ以テ調査セシメタルニ、河床没滞
ノ欠テ可ウサルハ、勿論、之カ為メ、各地ノ墮落ヲ来タ
カ故ニ没滞及河年改築ニ、相俟テ、施ラセラル得
又設計上他ニ費用ヲ減スル、途無ク、且、及分致
候付、特別ラ、以テ、本年、各ニ於テ、別成、計、算、書、ニ、通
金、四、百、三、十、五、百、四、拾、七、百、四、拾、三、拾、三、圓、支、出、金、成
修、保、費、金、此、際、及、可、照、會、ナ、ル、也

大目

由テ、前、年、七月、申、ノ、事、申、書、等、致

内、田、邊、修、也

別、成、修、保、費、金



3-2797

0370

乾亨一六四号

七月六日晴甲申四四号より長崎船下付
西人居留地河原坂修工費三十二年下迄
於る別巻支出之義中無書之類了取上
事其全録義次申より其際の義裁之
場より今も格此等之費用を支出之自
無之の如く今年迄之際了在一編入
未取之より存心以取之回答之
明治二十三年七月十五日

大藏大臣伯耆松方正義

由松方正義伯耆松方正義

外務省